

不動産のグ  
ッ  
ビ

# 道外でもデータ提供

## 東京・大阪などの賃貸物件

不動産のビッグ（札幌市、村上晶彦社長）は札幌市内で展開する賃貸物件のデータ提供事業を道外でも始める。四月をメドに東京都港区内の賃貸物件の空き室情報を地元不動産業者向けに販売する。年内に大阪市と福岡市にも広げる。

ビッグが運営する賃貸物件の検索システム「けんさくくん」は、札幌市内の不動産管理会社や、賃貸物件オーナーから約二十九万戸の情報を集め、

ほかの不動産仲介会社の約百五十店舗にデータを提供している。データ販売事業の売上高は約一億二千万円（二〇〇七年度）。

港区内では約六、七万户と推計される賃貸物件のうち、まず五割程度の情報を集め、四月にも港区版の検索システムを立ち上げる。ソフトの期間貸し（ASP）方式でシステムを提供し、利用料は一店舗当たり月一万一二十万円程度の予定。物

件の情報は二十三区内全域に広げる方針だ。

大阪と福岡では不動産情報システム開発のメガメディアコミュニケーションズ（大阪市、長江敏郎社長）と提携。物件の情報収集を委託する。二

〇二二年度までに仙台や  
一  
島でも事業を始め、デ  
円を旨指す。